

1 防災情報

関係機関連絡先一覧

●医療機関				●警察署・交番				●防災関連リンク					
No	区分	施設名	所在地	電話番号	No	区分	施設名	所在地	電話番号	国土地理院 防災情報提供センター	http://www.mlit.go.jp/saigai/boasaijoho/	国土交通省 防災情報提供センター	http://www.mlit.go.jp/saigai/boasaijoho/
1	1	あいのクリニック	鹿嶋市内1285-3	69-0777	1	1	鹿嶋警察署	鹿嶋市宮中1959-1	62-0110	防災情報(防災情報)	http://www.jma.go.jp/jp/typh/	国土交通省 防災情報提供センター	http://www.mlit.go.jp/saigai/boasaijoho/
2	2	アトナースポーツクリニック	鹿嶋市神宮26-2	85-1212	2	2	鹿嶋交番	鹿嶋市宮中3-1-2	84-0110	台風情報(防災情報)	http://www.jma-net.go.jp/mlto/	国土交通省 防災情報提供センター	http://www.mlit.go.jp/saigai/boasaijoho/
3	3	出雲屋	鹿嶋市宮中799-1	69-0028	3	3	荒井駐在所	鹿嶋市荒井3219	69-2287	水戸地方気象台	http://www.jma-net.go.jp/mlto/	国土交通省 防災情報提供センター	http://www.mlit.go.jp/saigai/boasaijoho/
4	4	井上歯科医院	鹿嶋市宮中9-30	83-1608	4	4	小川駐在所	鹿嶋市津波1315-2	69-0137	鹿ヶ浦川事務所	http://www.ktr.mlit.go.jp/kasumi/	国土交通省 防災情報提供センター	http://www.mlit.go.jp/saigai/boasaijoho/
5	5	大久保眼科	鹿嶋市大2-12	85-0777									
6	6	大野診療所	鹿嶋市大2-4-1	69-4724									
7	7	鹿嶋駅前クリニック	鹿嶋市宮中290-1	83-7445									
8	8	かま歯科	鹿嶋市津波1526-3	94-5000									
9	9	鹿嶋中央病院	鹿嶋市宮中1959-24	82-7911									
10	10	鹿嶋診療所	鹿嶋市宮中3	84-2934									
11	11	鹿嶋駅前	鹿嶋市平井1129-2	82-1271									
12	12	鹿嶋駅前クリニック	鹿嶋市平井1129-2	82-1854									
13	13	小川診療所	鹿嶋市宮中1-12	85-1111									
14	14	さくらクリニック	鹿嶋市津波2346-38	90-7722									
15	15	鹿嶋駅前	鹿嶋市宮中1545-35	69-7766									
16	16	鹿嶋駅前	鹿嶋市平井1129-2	82-1271									
17	17	鹿嶋駅前	鹿嶋市平井1129-2	82-1854									
18	18	鹿嶋駅前	鹿嶋市宮中1-12	85-1111									
19	19	鹿嶋駅前	鹿嶋市宮中1545-35	69-7766									
20	20	鹿嶋駅前	鹿嶋市平井1129-2	82-1271									
21	21	鹿嶋駅前	鹿嶋市平井1129-2	82-1854									
22	22	鹿嶋駅前	鹿嶋市宮中1-12	85-1111									
23	23	鹿嶋駅前	鹿嶋市宮中1545-35	69-7766									
24	24	鹿嶋駅前	鹿嶋市平井1129-2	82-1271									
25	25	鹿嶋駅前	鹿嶋市平井1129-2	82-1854									
26	26	鹿嶋駅前	鹿嶋市宮中1-12	85-1111									
27	27	鹿嶋駅前	鹿嶋市宮中1545-35	69-7766									
28	28	鹿嶋駅前	鹿嶋市平井1129-2	82-1271									
29	29	鹿嶋駅前	鹿嶋市平井1129-2	82-1854									
30	30	鹿嶋駅前	鹿嶋市宮中1-12	85-1111									

2 洪水・土砂災害

日頃からの準備

●普段から確認しましょう

避難経路の確認
災害時には遅れなく、避難所までの経路は、複数検討しましょう。

危険箇所の確認
自分の家や勤務先、学校などが土砂災害危険箇所、土砂災害警戒区域、特別警戒区域や浸水想定区域内にあるか、確認しておきましょう。

非常持ち出し袋の準備
雨が強く降ってきたら、気象、雨量、河川水位などの情報を積極的に入手しましょう。

災害情報の入手
非常持ち出し袋を事前に準備しましょう。また、持ち出すものは必要最小限にしましょう。

●避難時の注意

徒歩で避難を
車での避難は浸水すると動けなくなります。基本的には徒歩で避難しましょう。

動きやすい格好、2人以上での避難
避難するときは、動きやすい格好で、2人以上での避難を心がけましょう。

徒歩で避難を
お年寄りや身体の不自由な人は背負うなどして、一緒に避難しましょう。

洪水から身を守るための行動フロー
自宅や職場が土砂災害警戒区域内にある。 → 屋内待機 → むやみに外出は控えます。
自宅や職場が浸水想定区域内にある。 → 浸水の深さが床の高さを上回る。 → 屋内安全確保(垂直避難) → 浸水の深さが床の高さを上回る。 → 立退き避難(水平避難) → その場にとどまることは危険です。浸水直前の早い段階で、指定緊急避難場所(なるべく高い階)へ移動しましょう。

●土砂災害とは?

土砂災害は大きく分けて急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)・地すべり・土石流の3種類ありますが、鹿嶋市では「**急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)**」の危険性があります。

●土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域とは?

土砂災害警戒区域
土砂災害が発生した場合に、住民の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる区域で、土砂災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき土地の区域(地図上の黄色部分)

土砂災害特別警戒区域
土砂災害が発生した場合に、建築物の損壊が生じ住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域(地図上の赤色部分)

※上記以外の場所でも土砂災害が発生する可能性があります。危険だと思ふ場合は事前にハザードマップに書き込んでおきましょう。茨城県内で発表されている土砂災害警戒情報は、下記のURLから確認できます。
https://www.dosya.kasen.pref.ibaraki.jp/dosya/ (茨城県土砂災害警戒情報システム)

●急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)とは?

(急傾斜地の崩壊)は、大雨によって雨水が地面にしみ込み土の抵抗力が弱くなり、斜面(崖)が突然崩れ落ちる現象です。短時間で発生し、崩れた土砂が斜面の高さの倍以上先まで届くことがありますので逃げ遅れると大変危険です。

土砂災害から身を守るための行動フロー
自宅が土砂災害警戒区域内にある。 → 屋内待機 → むやみに外出は控えます。
安全な場所への避難が可能である。 → 屋内安全確保(垂直避難) → 屋内の安全な場所(がけと反対側のなるべく高い階)へ移動しましょう。
立退き避難(水平避難) → その場にとどまることは危険です。指定避難所や近隣の安全な場所、雨丈な建築物の2階以上へ移動しましょう。

前兆現象に注意!
土砂災害が起こる前は、がけに変化が現れます。見かけたら早めに安全な場所へ避難しましょう。
● 石が落ちてくる
● 水が吹き出す
● 割れ目が出る

3 津波対策

津波対策の考え方

内閣府中央防災会議専門調査会では、平成23年3月11日に発生した東日本大震災による甚大な津波被害を受け、新たな津波対策の考え方を平成23年9月28日(東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会報告)に示しました。この中で、今後の津波対策を構築するにあたっては、基本的に二つのレベルの津波を想定する必要があるとしています。

茨城沿岸津波対策検討委員会ではこの考え方に基づき、右記のとおり津波対策の検討を行いました。

L1津波

津波発生頻度は高く津波高は低いもの。大きな被害をもたらす津波。数十年から数十年の頻度。

L2津波

発生頻度は極めて低いもの。発生すれば甚大な被害をもたらす津波。数百年から千年の頻度。

防波堤などの構造物によって津波の内陸への侵入を防ぐ海岸保全施設等の建設を行う上で想定する津波

津波対策として、人命・住民財産の保護、地域経済の確保の観点から、護岸・堤防等の整備の目安となる「目指すべき堤防高」について検討しました。

住民避難を柱とした総合的防災対策を構築する上で想定する津波

津波対策として、総合的防災対策を構築する際の基礎となる「津波浸水想定」について検討しました。被害を最小限とする「減災」の考え方に基づき、ハザードマップの整備や避難経路の確保など、避難することを中心とするソフト対策を実施すべきとしました。

※詳細は茨城県ホームページに掲載されています。 ※このハザードマップでは、最大クラス(L2津波の復合)を想定した津波発生時の浸水区域を示しています。

想定津波の設定

対象津波	東北地方太平洋沖地震津波	H23 想定津波
マグニチュード	Mw=9.0	Mw=8.4
使用モデル	中央防災会議モデル	茨城県モデル
概要	平成23年3月11日、三陸沖を震源とした地震により発生した津波。東日本大震災を引き起こし、東北から関東を中心に甚大な被害をもたらした津波の再来を想定。	地震調査研究推進本部から平成23年11月に公表された「三陸沖から房総沖にかけての地震活動の長期評価(第二版)」についてを基に想定した地震。

4 津波情報

津波警報・注意報の種類

種類	発表基準	発表される津波の高さ	想定される被害と取るべき行動	
大津波警報	予想される津波の高さが高いところで3mを超える場合	10m超(10m<予想高さ≤10m) 10m(5m<予想高さ≤10m) 5m(3m<予想高さ≤5m)	巨大	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波警報	予想される津波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合	3m(1m<予想高さ≤3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波注意報	予想される津波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合	1m(0.2m<予想高さ≤1m)	(表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。

※大津波警報を「特別警報」に位置づけています。特別警報に関する詳しい情報は、気象庁「特別警報」についてをご覧ください。

津波から命を守るためのポイント・・・すぐ避難!!

1 揺れを感じたら津波に注意!!

海や川の近くで地震の揺れを感じたら津波情報を持つことなく、速やかに高いところへ避難しましょう。

2 正しい情報入手!! (1防災情報参照)

気象庁による津波警報、注意報、テレビやラジオ、市の広報などの正しい情報を基に行動しましょう。(うわさやSNSなど、適切でない情報や誤った情報に惑わされず、正しい情報に基づき行動してください。)

3 原則、歩いて避難!!

車での避難は渋滞を生んでしまい、逃げ遅れの原因となります。また、真に車を必要とする人の妨げになってしまうこともあるため、できるだけ徒歩で避難しましょう。

4 避難は声掛けしながら地域のみんで!!

ご近所(場合によっては観光客なども含む)にも声を掛けながら、周りの皆さんも速やかに避難ができるよう「率先避難者」となりましょう。

5 想定にとらわれず、ベストを尽くす!!

本マップに表現した津波浸水想定は、現在の科学的知見や過去の災害などを基にしたもので、これより大きな津波、これより早く到達する津波が発生する可能性もあります。その時々でできる最善を尽くしましょう。

6 気になっても戻らない!!

予兆もなく第2波、第3波が襲ってくる可能性もあります。避難解除されるまで絶対に戻らないようにしましょう。また、海や川に近寄らないようにしましょう。

